

平成25年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月5日

上場取引所 大

上場会社名 シグマ光機株式会社

コード番号 7713 URL <http://www.sigma-koki.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 森 リョウジ

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 菊池 健夫

TEL 03-5638-8221

四半期報告書提出予定日 平成24年10月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年5月期第1四半期の連結業績(平成24年6月1日～平成24年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年5月期第1四半期	1,414	△12.8	6	△91.3	19	△81.6	22	△60.3
24年5月期第1四半期	1,623	△0.6	77	△53.3	108	△46.3	57	△47.6

(注) 包括利益 25年5月期第1四半期 △19百万円 (—%) 24年5月期第1四半期 38百万円 (△34.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年5月期第1四半期	3.02	—
24年5月期第1四半期	7.72	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年5月期第1四半期	12,767	10,689	83.5	1,415.19
24年5月期	12,991	10,837	83.2	1,434.66

(参考) 自己資本 25年5月期第1四半期 10,659百万円 24年5月期 10,806百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年5月期	—	17.00	—	17.00	34.00
25年5月期	—				
25年5月期(予想)		15.00	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成24年5月期の第2四半期末配当金17.00円及び期末配当金17.00円には、第2四半期末配当金2.00円及び期末配当金2.00円の記念配当が含まれております。

3. 平成25年5月期の連結業績予想(平成24年6月1日～平成25年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,350	△0.7	135	△48.3	165	△49.2	85	△52.0	11.28
通期	7,220	3.9	540	26.1	605	7.4	310	13.2	41.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細については、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年5月期1Q	7,811,728 株	24年5月期	7,811,728 株
② 期末自己株式数	25年5月期1Q	279,328 株	24年5月期	279,328 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年5月期1Q	7,532,400 株	24年5月期1Q	7,447,400 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。又、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要やエコカー補助金による個人消費の増加が下支えとなり景気は緩やかに回復したものの、長引く円高株安傾向や電力需給問題等が影を落としています。又、欧州での財政金融危機による景気低迷、失業率の高止まり等による米国での景気回復の鈍化、欧州の需要低迷による中国やアジア新興国経済の成長鈍化等により、先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループが主力とする研究開発分野においては、大学・官公庁向け研究開発分野での研究開発予算の執行の動きが鈍く、光学要素部品の需要は依然慎重な動きで推移しております。民間企業向け研究開発分野においては、光学ユニット製品や光学システム製品の需要が横ばいで推移しております。又、産業分野においては、バイオ業界や医療業界、通信業界向けの光学要素部品の需要は底堅く、携帯端末市場に関連する半導体業界、モバイル用FPD業界では一部回復の兆しも見られますが、競合メーカーとのコスト競争や短納期対応は厳しさを増しております。

このような厳しい経営環境の下、当社グループは、「お客様の欲しいを形に」をキーワードにした提案営業と新製品開発を引き続き強力に推し進めるとともに、生産の効率化、内製化の促進、購買機能の強化等による生産コストの削減や全般的な経費削減に取り組んでまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は14億1千4百万円（前年同期比12.8%減）、営業利益6百万円（前年同期比91.3%減）、経常利益1千9百万円（前年同期比81.6%減）、四半期純利益は2千2百万円（前年同期比60.3%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 要素部品事業

当事業におきましては、官公庁向け研究開発分野で、お客様の品質・価格・納期の要求に応じた製品提案と早期製品化対応により、レーザ周辺、観察系(顕微鏡)周辺の先端研究の案件獲得を継続して推進しております。しかしながら、手動・自動位置決め製品や光学素子製品は、常に海外メーカーとのコスト競争や短納期対応が継続しており、さらに厳しさを増しております。民間向け研究開発分野及び検査・製造装置の組込み用途においては、携帯端末市場の活発な販売動向に牽引された半導体市場やモバイル用FPD市場での設備投資等の需要に増加傾向は見られますが、海外への生産シフトの進展によって国内需要は依然慎重な動きとなっております。又、バイオ業界向けの自動位置決め装置及び、医療分野、通信業界向けの光学素子製品は一部堅調に推移するも、半導体・FPD・エネルギー市場向けのレーザ加工機組込み用途やアライメント調整用途での手動・自動位置決め製品及び光学素子製品は低調に推移いたしました。

その結果、セグメント間の内部売上高を含む売上高は12億7千2百万円（前年同期比10.3%減）となり、営業利益は1億9千1百万円（前年同期比15.2%減）となりました。

② システム製品事業

当事業におきましては、国内企業の新規設備投資、研究開発投資において依然慎重な動きが継続しております。官公庁向け生物・医療研究用バイオ関連製品や民間企業向け研究開発用光学ユニット製品及び光学測定装置と観察光学系システム製品の需要は横ばいで推移しております。又、携帯端末市場の需要増加により、半導体市場向け検査装置用ユニット製品やモバイル用FPD市場向けレーザ加工機用ユニット製品の引き合いが一部増加傾向となっておりますが、国内企業の予算状況や競合メーカーとのコスト競争は厳しさを増してきており、低調に推移いたしました。

その結果、セグメント間の内部売上高を含む売上高は1億4千2百万円（前年同期比30.4%減）となり、営業損失は7千1百万円（前年同期は営業損失4千4百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末に比べ以下のとおりとなりました。

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて3.8%減少し、63億6千2百万円となりました。これは、現金及び預金が3億9千6百万円、受取手形及び売掛金が2億8千9百万円それぞれ減少し、有価証券が2億9千2百万円、たな卸資産が1億2千9百万円それぞれ増加したことなどによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて0.4%増加し、64億5百万円となりました。これは、繰延税金資産が2千7百万円、無形固定資産が2千4百万円それぞれ増加し、建物及び構築物が1千7百万円減少したことなどによるものです。

その結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて1.7%減少し、127億6千7百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて8.9%減少し、13億8百万円となりました。これは、賞与引当金が6千8百万円増加し、支払手形及び買掛金が7千6百万円、未払法人税等が7千8百万円それぞれ減少したことなどによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて7.3%増加し、7億6千9百万円となりました。これは、長期借入金が2千3百万円増加したことなどによるものです。

その結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて3.5%減少し、20億7千7百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1.4%減少し、106億8千9百万円となりました。

自己資本比率は、83.5%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年7月9日に公表いたしました業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年6月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更による、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,471,623	2,074,657
受取手形及び売掛金	1,874,429	1,584,461
有価証券	281,193	573,277
商品及び製品	911,704	942,605
仕掛品	160,159	210,206
原材料及び貯蔵品	747,850	796,879
繰延税金資産	116,791	128,253
その他	55,266	55,759
貸倒引当金	△4,261	△4,008
流動資産合計	6,614,757	6,362,091
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,170,637	1,152,847
機械装置及び運搬具(純額)	522,712	529,268
土地	1,338,087	1,338,087
その他(純額)	123,614	118,510
有形固定資産合計	3,155,050	3,138,713
無形固定資産		
その他	156,461	181,397
無形固定資産合計	156,461	181,397
投資その他の資産		
投資有価証券	233,470	238,621
繰延税金資産	128,982	156,119
投資不動産(純額)	2,291,734	2,282,239
その他	434,403	431,473
貸倒引当金	△23,345	△23,420
投資その他の資産合計	3,065,245	3,085,034
固定資産合計	6,376,758	6,405,144
資産合計	12,991,515	12,767,236

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	801,220	724,270
短期借入金	129,000	168,000
未払法人税等	119,611	41,256
役員賞与引当金	12,000	—
賞与引当金	—	68,143
受注損失引当金	16,457	24,366
その他	358,233	282,047
流動負債合計	1,436,522	1,308,084
固定負債		
長期借入金	119,000	142,000
退職給付引当金	359,619	365,636
役員退職慰労引当金	159,213	162,541
その他	79,689	99,492
固定負債合計	717,522	769,670
負債合計	2,154,044	2,077,754
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,623,347	2,623,347
資本剰余金	3,092,154	3,092,154
利益剰余金	5,518,522	5,413,280
自己株式	△204,052	△204,052
株主資本合計	11,029,972	10,924,730
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,917	15,244
為替換算調整勘定	△239,440	△280,191
その他の包括利益累計額合計	△223,523	△264,947
少数株主持分	31,021	29,699
純資産合計	10,837,470	10,689,481
負債純資産合計	12,991,515	12,767,236

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年8月31日)
売上高	1,623,130	1,414,891
売上原価	1,099,943	946,720
売上総利益	523,186	468,170
販売費及び一般管理費	445,695	461,416
営業利益	77,491	6,753
営業外収益		
受取利息	1,017	1,023
受取配当金	8	138
不動産賃貸料	42,668	44,320
その他	13,869	9,218
営業外収益合計	57,564	54,700
営業外費用		
支払利息	833	748
不動産賃貸費用	22,548	36,292
その他	2,767	4,424
営業外費用合計	26,150	41,465
経常利益	108,905	19,988
特別損失		
固定資産売却損	—	423
特別損失合計	—	423
税金等調整前四半期純利益	108,905	19,564
法人税、住民税及び事業税	67,771	36,120
法人税等調整額	△16,361	△39,312
法人税等合計	51,409	△3,191
少数株主損益調整前四半期純利益	57,495	22,755
少数株主損失(△)	△27	△52
四半期純利益	57,523	22,808

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	57,495	22,755
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,748	△673
為替換算調整勘定	△23,001	△42,021
その他の包括利益合計	△19,252	△42,694
四半期包括利益	38,243	△19,938
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	38,816	△18,615
少数株主に係る四半期包括利益	△573	△1,322

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年6月1日至平成23年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 2	合計
	要素部品事業	システム製品 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,417,961	205,168	1,623,130	—	1,623,130
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	81	81	(81)	—
計	1,417,961	205,249	1,623,211	(81)	1,623,130
セグメント利益(又は損失)	226,329	(44,872)	181,457	(103,966)	77,491

(注) 1. セグメント利益(又は損失)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. セグメント利益(又は損失)の調整額は、セグメント間取引消去△81千円、全社費用△103,885千円であります。なお、全社費用は各報告セグメントに配分できない管理部門等に係る費用であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成24年6月1日至平成24年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 2	合計
	要素部品事業	システム製品 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,271,945	142,945	1,414,891	—	1,414,891
セグメント間の内部売上高 又は振替高	143	—	143	(143)	—
計	1,272,088	142,945	1,415,034	(143)	1,414,891
セグメント利益(又は損失)	191,914	(71,891)	120,022	(113,269)	6,753

(注) 1. セグメント利益(又は損失)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. セグメント利益(又は損失)の調整額は、セグメント間取引消去△143千円、全社費用△113,126千円であります。なお、全社費用は各報告セグメントに配分できない管理部門等に係る費用であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。